

チエルノブイリへ届け

波田小合唱部 励ましの歌声

JCF支援コンサート

る病院や闘病中の子供たち、西築区域での生活などをスライドで紹介。続いて同合唱部が「美しいチロル」「大いなる波田」などを心を込めて歌った。このほか、ベラルーシの郷土料理のボルシチを無料で振る舞い、味の文化交流も深めた。コンサートの様子はビデオに収録し、子供たちが入院するゴメリ州立病院や、学校などに届ける。

同合唱部の子供の父親にJCFのボランティアスタッフがいたことが、真に協力してコンサートを開くことになった。岩下教諭は「初めて試みたが、同じ年ごろの仲間として考えをきっかけになってほしい」と話していた。



日本チエルノブイリ連帯基金（事務局・松本市浅間温泉2、JCF）は2日、波田町の情報文化センター・アクトホールでチャリティーコンサートを開いた。波田小学校合唱部（顧問・岩下文弥教諭、58人）が出演し、チエルノブイリの子供たちに歌声のメッセージを贈った。

JCFの神谷さだ子事務局長は「みんなの思いがチエルノブイリに届くように、歌声で励ましてほしい」とあいさつ。「届けチエルノブイリへーわたしたちのハーモニー」をテーマに、合唱部の歌やJCF医療機器スタップの活動報告、東京都在住のピアニスト・河野康弘さんの演奏などがあった。

心を込めて歌のメッセージを伝える
たスティー

初めに、物置が不足す